

第3次自転車総合計画目標値の達成状況

施策体系	目標	指標名	目的	現状	目標値	平成30年 12月末時点	達成度※1	
のる(利用環境) に関する施策	安全に対する意識の啓発(活動指標)	安全教育経験者	交通ルールの周知徹底による効果を測るため	55%	60%	47%	78%	△
		自転車保険加入者	自転車事故に対する危機管理意識の向上を測るため	42%	50%	48%	96%	○
	自転車利用の促進(成果指標)	自転車分担率(パーソントリップ調査)	自転車利用者の増加により環境の保全や健康の推進が期待できるため	19.8%	23%	平成30年度PT調査の結果公表後、分析を行う。		
	自転車事故発生日数の減少(成果指標)	自転車事故件数(東京の交通事故)	交通ルールの周知徹底による効果や自転車の適正利用を測るため	338件	300件(10%減)	318件(6%減)	60%	△
はしる(走行環境) に関する施策	安全な走行空間の確保(活動指標)	自転車通行区分を確保できた道路延長(交通対策課資料)※2	安全に自転車を利用できる走行空間が確保されていることを示すため	5.5km	11km	28km	254%	◎
とめる(駐車環境) に関する施策	自転車収容台数の確保(活動指標)	立川駅周辺(南北)の自転車等収容台数(交通対策課資料)	自転車駐車場の確保状況を示すため	19625台	維持	18034台	92%	○
		西武線沿線の自転車等収容台数(交通対策課資料)						
		多摩モノレール沿線の自転車等収容台数(交通対策課資料)※3						
	放置自転車の減少(成果指標)	市内放置自転車台数	自転車の適正な駐車を示し、施策実施による成果を示すため	653台	450台(30%減)	175台※4(73%減)	243%	◎

※1 ×:0~40% △:41~80% ○:81~100% ◎:101%以上

※2 東京都・交通管理者施工分も含む

※3 立川北駅、立川南駅、玉川上水駅周辺自転車駐車を除く

※4 平成30年10月18日午前11頃調査(東京都青少年・治安対策本部調べ「駅前放置自転車の現況と対策」に報告)